

年間授業計画【新様式】

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

教科担当者：河本 倫子

使用教科書：（「高校生の美術 I」（日本文教出版））

教科 芸術 の目標：

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

美術を広く創造として捉えることで感性を高め、美的体験を通して個性豊かな表現と鑑賞力を伸ばし美術文化についての理解を深め、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、あらわしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想をねったり、美術や美術文化にたいする見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ 映							
オリエンテーション					○	【知識・技能】 造形要素の働きを理解し、絵画における造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などを自分なりに捉えることを理解する。 【思考・判断・表現】 絵画の造形的なよさや美しさを感じ取り、自己体験・価値観を意識し、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵画鑑賞の創造活動に主体的に取り組む。	○	○	○	1
画材探求① 鉛筆	鉛筆の削り方 鉛筆デッサンのためのワークシート	○			○	【知識・技能】 鉛筆の調子を自在に調節し、鉛筆による階調を意識して明暗の表現ができている。 【思考・判断・表現】 光源を自ら設定し、それによってできる陰影を構想し、明暗を3段階の調子で捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本の重要性に気づき真摯に取り組もうとしている。	○	○	○	11
画材探求② 色鉛筆	水彩色鉛筆による12色相環の作成 色の三属性の理解	○			○	【知識・技能】 色の仕組みを理解し12色相環を丁寧に美しく作成できている。 【思考・判断・表現】 水彩色鉛筆の特徴を生かした組み合わせができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 色彩に興味を持ち、主体的にとりくもうとしている。	○		○	11
画材探求③ 透明水彩絵の具	オートマティズムの技法	○			○	【知識・技能】 各技法による造形要素の働きなどを基に、表現方法を創意工夫し創造的に表している。 【思考・判断・表現】 各技法の特性を生かし、創造的な表現の構成を練り、その効果の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各技法に興味を持ち、見方や感じ方を深める創造活動に主体的・意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	11

